

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2011. 3.28

No.1989
No.31



出席率	会員50名中38名
先々週の出席率	84.78%
先週の メイクアップ	3/8 三條東RCへ 西巻克郎君 佐々木常行 3/10 PETS（新潟）へ 馬場信彦君 鈴木罔彦君 熊倉高志君 3/22 AG開催市内4RC 会長・幹事・社会奉仕委員長会議へ 荏澤喜一郎君 大溪秀夫君 野崎正明君 赤塚 寧君 3/24 三條東RCへ 荒澤威彦君 野島廣一郎君 佐々木常行君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。
先週は、春分の日で例会はお休みでした。皆さん、いかがお過ごしでしたか？ 本来ならば、お彼岸の中日で、3連休でもあり、お墓参りや、或いは旅行などで楽しい週末を過ごされたことでしょうか、この3月11日（金）に起きた、東日本大地震の影響で、それどころではなかった方が多かったのではないかと思います。地震、津波、原発事故によるトリプルだめageは、想像以上に大きく、未だに行方不明、安否不明の方が多くおられ、死者の数は3万人以上とも言われています。この出来事には日本、さらには世界の人々が心を痛め、多くのイベント、催し物が中止または延期される事態となりました。一刻も早い復興を祈らずにはおられません。

こんな中、国際ロータリーにおいては、ガバナー会議長 上野 操氏より、「東北地方太平洋沖地震」災害義援金のお願いの文書が、3月16日付で、2560地区東山ガバナーの元に届けられました。これを受け、荏澤アシスタントガバナーの呼びかけで、三條市内4クラブの会長、幹事、社会奉仕委員長が出席し、3月22日に対応を協議しました。席上、荏澤アシスタントガバナーから、現在のロータリーの支援情報の報告がありました。

- * 栃尾RCは3月26日（土）の創立40周年式典開催を中止し、それに係る費用全てを義援金として送金
- * 新発田RCはスマイルボックス収入など、500万円を義援金として市役所に
- * RI第2570地区（埼玉西北）などは、4月1日（土）、2日（日）開催予定の地区大会を中止し、その経費を義援金に

等です。

各クラブからいろいろな意見が寄せられましたが、結論として、義援金は支出する方向で各クラブに持ち帰り、アシスタントガバナーに結果を返答す



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 荏澤喜一郎 [三條南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

ることになりました。

これを受けまして、本日、臨時理事会を開き、東北関東大震災に対する支援について協議しました。その結果、現在捻出可能なお金は

スマイルボックス会計より 50 万円

財団会計より 9 万 6 千円

米山奨学会計より 15 万 8 千円

一般会計より 25 万円（4 月 11 日開催予定旬例会中止、その賄費用）であり、そのうち

100 万円を 3 月 31 日にまでにガバナー事務所に送ることにしました。また、クラブ内に義援金ボックスをスマイルボックスとは別に設置し、とりあえず 4、5、6 月、必要であれば、鈴木年度も 1 ヶ月毎に市内の避難所に市役所を通じて送る。また、50 周年事業の積立金としてある 450 万円のうち、必要ならば、50 万円を取りくずし、避難所への必要物資に換え、援助する。以上が採択されました。

そこで、会員の皆様にお諮りいたします。この理事会の決定に賛成される方は、拍手をお願いします。

ありがとうございました。それでは三条南クラブは、このように行動したいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

現在、震災の注目はどうしても原発事故による放射線汚染に集まるようになっていきます。外国人の日本脱出が続いていますし、原発の 3 号機はまだ煙が出たり、現場の作業員が被曝したりもしています。そして、作物（ホウレン草、小松菜、ブロッコリーなど）の出荷制限に加え、東京都は金町浄水場の水道水から飲用基準の 2 倍にあたる放射性ヨウ素 131 を検出し、1 歳未満の乳児が飲用するのは好ましくないと発表し、お母さん方は一時パニックになりました。また、県内避難者は約 1 万人に達し、三条市にも約 600 人の方々が避難しています。まだまだ先が見えない状態ですが、そうした中、高校野球が“がんばろう、日本！”を合言葉に 3 月 23 日に開催されました。開催の決定には慎重をきいたようですが、東北高校の参加表明が決め手になったとも言われています。そして、開幕試合で日本文理高校が、香川西高に 8 対 1 で快勝しました。手をたたいて大喜びするわけにもいきませんでした。そして、この後登場した 21 世紀枠の佐渡高校の活躍にも期待しましたが、26 日、対智弁和歌山戦で善戦したものの、1 対 8 で敗れてしまいました。しかし、佐渡高校に対して、惜しみない拍手を送りたいと思います。

本日は、22 代会長の野島廣一郎会員の卓話であります。大変な時で申し訳ありませんが、よろしくお願いします。



坪井 正康会員

1 月末に開腹手術を受け、2 月末退院、3 月いっぱい静養していました。皆様にご心配をおかけしておりましたが、本日より出席させていただきました。

入院中には大溪会長、野崎幹事さんよりクラブのお見舞いをいただきました。有難うございました。

皆様のご厚意に厚くお礼申し上げます。

幹事報告

野崎 正明 幹事

東山ガバナー事務所より

①RI第 2560 地区 2011－12 年度RI理事指名員会委員 決定のお知らせ

・2011－12 年度指名委員会委員 : 馬場信彦パストガバナー

②クラブ活性化セミナー及び新会員セミナー 開催のご案内

日 時 2011 年 4 月 16 日（土） 13:00～15:00

会 場 やすね（上越市）

※馬場信彦PG 吉井正孝ロータリー情報委員長 出席予定

中条ロータリークラブより 創立 50 周年記念式典 ご案内

日 時 2011 年 6 月 26 日（日） 13:00～17:30

会 場 ロイヤル胎内パークホテル

歓迎リサイタル メゾソプラノ歌手 本間千晶さん

石本ガバナーエレクト事務所より 第 2560 地区 2012-2013 年度 国際親善奨学生募集についてのご案内

【目的】国際親善奨学金は、民間の留学プログラムとしては、世界最大のもの。現在、毎年約 1,100 名の奨学生を支援。専門分野を勉強し、また、友好親善使節としての使命を果たしえる人を募集、選考し奨学金を提供。

【応募資格】

- (1) 奨学金開始時点で、大学課程を少なくとも 2 年修了しているか、高等学校卒業者で、少なくとも 2 年間、一般に認められた職業に従事していること。
- (2) 障害者及び、ローターアクトクラブ会員も資格がある。

【応募説明会】

- ・日時：2011 年 4 月 9 日（土）午後 1 時 ～ 3 時
- ・会場：コープシティ花園（ガレソホール4階 東横イン内）

【奨学金の種類】 1 学年度国際親善奨学金

【募集人員 および 支給額】 国際ロータリー第 2560 地区から 3 名（奨学金支給額：US\$27,000 / 人）

【スケジュール】

- (1) 各ロータリークラブ受付締切り 2011 年 6 月 1 日（水）
- (2) ガバナー・エレクト事務所受付締切り 2011 年 6 月 10 日（金）
- (3) 奨学生面接 2011 年 8 月 20 日（土）
- (4) ロータリー財団本部からの合格通知 2011 年 12 月頃

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 3 月 28 日 33,000 円
今年度累計 590,000 円

坪井 君 入院中に大溪会長、野崎幹事さんよりクラブのお見舞いをいただきました。有難うございました。ご厚情のほど厚くお礼を申し上げます。

馬場(信) 君 3月14日に軽井沢の石の教会において三女の仁美が結婚しました。地震の余震が頻発する中でしたが、思い出に残る結婚式・披露宴となりました。

大溪 君 大分暖かくなってきましたが、まだまだ震災の影響が残っております。会員の皆様にもご協力いただくようになりますが宜しくお願いします。本日の歴代会長の卓話、野島さんよろしくをお願いします。

野崎 君 野島先生、本日の卓話よろしくお祈り致します。

田中 君 地震、津波、原発問題の三重苦からの一日も早い解放の日を祈っています。

野島 君 今日は、私の拙い話で、皆様のお耳を汚しますが、お許し下さい。

鈴木(囧) 君 ①本日の卓話、野島先生ご苦労様です。
②今晚、次年度の役員会を行います。理事・役員の皆様、宜しくお願いします。

佐藤(嘉)君、西巻君、若井君 野島さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

吉田 君 玉川温泉で地震にあい、一日半停電で暖房が止まり、風呂の回数を増やしたら酸に負けて体中に発疹が出て、未だに完治しません。

安達 君 都合で早退させていただきます。野島先生、申し訳ありません。

銅冶君、馬場(一)君 BOXに協力致します。

熊倉 君 BOXにご協力有難うございました。

Birthday



誕生日

4月のお祝い



会員誕生 2 日 佐藤栄祐君 5 日 嘉瀬 修君 11 日 野水孝男君
14 日 安達 裕君 20 日 若井 博君

夫人誕生 8 日 野崎裕子（正明）さん 14 日 渡邊ノブ子（久晃）さん
24 日 馬場美恵子（真樹）さん 30 日 馬場静子（一敏）さん

結婚記念 5 日 坂本洋司君 ・ 満寿子さん 9 日 鈴木囧彦君 ・ 朝子さん
10 日 渡邊久晃君 ・ ノブ子さん 17 日 丸山徹夫君 ・ 光子さん
25 日 永桶俊一君 ・ 京子さん 26 日 野島廣一郎君 ・ 優子さん
29 日 松崎孝史君 ・ 恵 さん

* おめでとうございます *

「1日に4回ローターバッチを意識して」



私が当クラブに入会したのが、昭和 51 年 11 月でした。私が 40 歳の時です。当時の会長は、豊島 豊さんでした。もう 35 年も前のことです。また、会長を務めさせていただいたのが、平成元年の 7 月よりの 1 年間でした。それから 22 年経ちました。いずれも昔のことですので、忘れていることも多く、温故知新になるかどうかわかりませんが、当時を振り返りながらお話をさせていただきます。

入会のいきさつ及びその頃の思い出

私は、当クラブ 5 代目会長の石川吉松さんのお誘いで入会致しました。ロータリークラブについて全くわかりませんでしたので、お聞きしました

ところ、石川さんは、

「自分もよく説明できないので、とにかく出席をしてくれ、出席を続けていれば自分なりに解ってくる。また、ロータリアンは例会中はみんな平等であり、友人である。だから、『〇〇君』で呼ぶのが原則である、とは言っても金子六郎さん、田中正佐久さんのような大先輩を『君』付では呼べないので、南クラブでは『〇〇さん』と『さん』を付けて呼ぶことにした。例会中に決して『様』を付けて呼ばないよう・・・」とこの二つのこと「出席」と「会員は平等の友人」を石川さんが言われたように記憶しております。

私が入会してから 2 年目のガバナー公式訪問の時、その時のガバナーは古い会員の方はご存知でしょうが、個性豊かな馬場金太郎さんでした。この方は、新潟県で初めて 2 度ガバナーをされた方で、私が入会する 2 年前、そして、その 4 年後にガバナーをされた方ですが、その公式訪問の時、石川さんが言われた「出席」と「平等の友人」の 2 つを強調されました。石川さんと同じことを言われたので私は記憶に残っております。

「出席即奉仕」「出席なくして親睦なし」「出席なくして友情なし」「出席なくしてロータリーなし」

「ロータリーは出席に始まり出席に終わる」

「ロータリーの辞書には NO という言葉はない。また、他人という言葉もない。みんな素晴らしい友人である」というようなことを言われたように記憶しております。

話は横道にそれますが、この時の公式訪問が印象に残っておりますので、少しお話をさせていただきます。公式訪問の時は委員長報告を行います、馬場金太郎ガバナーは「報告書を読んで来たので、記載してある文章は読まないでください。時間の無駄です。報告書以外にいうことがあったら言って下さい。言うことがなければ、「書いてある通りです」と一言言って下さい」と言われ、最初に『会計』と指名されました。委員長報告は報告書のクラブの事業計画の掲載順で進行されるものと思っておりまし、また、予算書等はあったとしても、会計の事業計画などは記載されておられません。その時の会計は、相田明雄さんだったと記憶しておりますが、相田さんは突然の指名にも慌てず、立ち上がって、会計の目的や役割などを話されました。私は大変感心したことを覚えております。

石川さんが言われたことを守って、メイクアップに助けられながら、入会以来 100%出席を続けておりますがロータリーのことは未だによく解りません。それは、私の不勉強のせいだと思っております。しかし、100%出席を続けられたということはその間大きな病気もしなかったということだと喜んでおります。

会長及び幹事時代の思い出

私が幹事を務めさせていただいたのは、昭和 56～57 年度でした。会長は橘先生でした。その時の地区協議会は桐生市で行われ、会長と幹事は当時 2 泊、それ以外の方々は 1 泊でした。先輩会員から「地区協に行ったら、次の日に来る会員のためにいい二次会の店を探しておくのが幹事の役目だ」と教えられましたので、橘会長と二人で夜の桐生市を探索しました。いいお店を見つけて、次の日来た会員の方々にお褒めをいただきました。

会長を務めさせていただいたのは、平成元年から 2 年度でした。幹事は佐藤英一さんをお願いをいたしました。佐藤さんは私よりもロータリー歴は長く、優秀な方でしたので、全て丸投げのような形で佐藤さんからやっていただきました。その時のクラブ主要目標は「進んで参加し、楽しもう」でした。それはどんな楽しみでも、人が与えてくれるものではなく、自分自身が参加することで得られるものと考えたからです。

桐生と縁があるのでしょうか、奇しくもガバナーは桐生クラブの吉野一郎さん。公式訪問の前に設営されたガバナー、あの当時は AG ではなく分区代理、会長、幹事で懇談会の席上、前に提出しておきましたクラブの目標や方針を書いた書面を見られ、「これは会長さんが書かれたか」と尋ねられましたので、私は正直に「佐藤

幹事から書いてもらいました」と答えましたら、「このくらいは会長が自ら書かなければなりません」とお叱りを受けました。それほど私は幹事に頼り切った会長でした。

また、我がクラブだけでなく三条クラブの諸先輩からもいろいろと適切なアドバイスをいただきましたことも感謝しております。

会長就任前、三条クラブの熊倉昌平さんとお会いした時に、会長挨拶についての悩み事を話しますと「誰も会長挨拶を聞くためだけに例会に来ているわけでない。何も話すことがなかったら『今日は会長挨拶はありません』と言うくらいの気持ちで例会に臨めばよい」と言っていただき、随分と肩の荷が軽くなりました。お蔭で私の会長挨拶は今までにない短い挨拶でした。

また、現在は名誉会員になっておられますが、藤田説量パストガバナーには地区協議会で一緒にさせていただいた折、ゴング（鐘）の叩き方をご指導いただきました。あの方は、ご住職ですので、鐘を叩くのはプロの技……。鐘の下の部分を手首を軽く引いた後スナップを効かせ打つとのご指導でした。毎例会澄んだ鐘の音が響いたのではなかったでしょうか？

私の会長時代の思い出は、先ずオーストラリア国際研修旅行の実施です。佐藤譲国際奉仕委員長さんの下で平成2年1月16日～21日までの5泊6日でご夫人も含めて総勢31名の参加でした。

また、その年の3月には“隅田川屋形船川下り”の旅を楽しみました。この時も31名の参加でした。夜は六本木のクラブを貸切にし、六本木の夜を楽しむこともできました。これは六本木に詳しい安達当時親睦委員長のお蔭だと喜んでおります。

そして、会長就任早々の元年7月には、ドイツから夏期交換学生2名の受入れをしました。また翌8月には馬場信彦会員のお嬢さんの智子さんを派遣。受入れにご協力いただきました馬場信彦会員、吉田秀治会員、武藤昭三会員、永桶栄資会員をはじめご家族の皆様に改めてお礼を申し上げます。

ロータリーバッヂ ～ ウマシカの妄録 ～

その頃、ロータリーのバッヂについていろいろな議論があったように思います。パスト会長バッヂとか……。何種類かのバッヂがあるようですが、「ロータリアンは、皆平等と言っているのだから一種類でいいのではないか」というような議論です。

馬場金太郎さんは、ご自身の著書「ウマシカの妄録」の中で

私は1日に4回バッヂを意識する。朝、「私は真実を旨としているかどうか」と襟のバッヂに触れてみる。昼、「私は皆に公平だろうか」とバッヂに手をおいてみる。夕べは「好意と友情を深めているだろうか」とバッヂを撫でてみる。さらに夜に「今日一日、みんなのためになっただろうか」と反省する。

——— これを生活習慣にしたいものだと考えます。

さらに、シェークスピアの“優しい思いやりは貴族の真実のバッヂである”と言う言葉を引用され、

つつましい暖かいおもいやりこそ私たちロータリアンの真実のバッヂでありましょう

と述べておられます。

襟元についている有形のバッヂだけでなく、ハートの中にも無形のロータリーバッヂがあるのではないのでしょうか。



オーストラリア国際研修旅行



夏期交換学生



ロータリアンと学友が地震災害の被災者救済に乗り出す

行方不明者を含め、大勢の犠牲者を出している大地震と津波の被災者を助けようと、ロータリアンは、あらゆる手段を用いて支援活動に乗り出しています。

大災害の知らせを受け、ロータリー財団は 3 月 11 日、長期の復興支援プロジェクトを行うために「[ロータリー日本地震災害復興基金](#)」を設置しました。現時点までに、50 万ドルを超える義援金が寄せられています。

海外のロータリー関係の人々から応援をいただき、とても励まされていると、東京ロータリークラブの茂木友三郎会長は述べます。「日本人は、この大災害をきっと乗り越えたと信じています。さまざまな困難にも打ち勝つことができると、希望を抱いています」

震災の一週間後、「ロータリー日本地震災害復興基金」からの補助金を受けた最初のマッチング・グラント・プロジェクトが承認されました。第 3350 地区（カンボジア、タイ）と第 2820 地区（茨城県）のクラブが参加するこのプロジェクトでは、合計 65,650 ドルの資金を活用し、茨城県で避難生活を送る 15,000 人の被災者のために食糧と飲料水が提供されます。

ほかにも、被災者を支えるさまざまな活動が行われています。

- ・日本国内の 3 つのロータリー地区は、地区資金を利用して支援にあたっています。
第 2610 地区（石川県、富山県）は、被災者支援緊急プロジェクトを立ち上げ、被災地から避難してきた人々が利用できる公共住宅 500 戸を準備しました。第 2840 地区（群馬県）は、会長エレクト研修セミナーの日程を 2 日間から半日に短縮し、セミナー用の残余資金を救援活動の資金に充てました。第 2680 地区（兵庫県）は、地区大会の際に義援金の募金箱を設置し、復興活動のための 7500 ドルを集めました。
- ・東京ローターアクトクラブは、「Cheer Tohoku（東北を応援しよう）」プロジェクトに乗り出し、ツイッターに被災者への応援メッセージを書き込むよう、世界中のローターアクトに呼びかけ、短いメッセージが記された紙を持ったローターアクトたちの[写真をツイッターに掲載](#)しました。被災地の人々に気持ちを伝えるために、世界に広がるローターアクトのネットワークを利用できるかもしれないと、高橋クラブ会長は考えたそうです。
- ・明石西ロータリークラブ（兵庫県）は、自家用機を用いて医療品を空輸し、須賀川ロータリー・クラブ（福島県）がそれらの物資を福島空港付近の病院へと運びました。また第 2640 地区（和歌山県、大阪府の一部）のガバナーと 6 人のロータリアンが、毛布 1,000 枚を福島県のロータリアンに届けました。



東京ローターアクト・クラブは、日本の地震・津波災害被災者への応援メッセージを書き込むよう、世界中のローターアクトに呼びかけています。写真提供：東京ローターアクト・クラブ

ロータリー財団学友が支援活動を展開 ロータリー財団学友プログラムも、日本の復興活動に参加しています。

- ・2004 年の津波災害を経験した第 3330 地区（タイ）のロータリアンとその友人たちは、津波災害の対応にいち早く乗り出しました。地区内のロータリー財団学友会は、ロータリークラブと協力し、15,000 ドルの募金を集めました。
- ・第 5450 地区（米国コロラド州）の元 GSE メンバーを含む多くの人たちも支援に加わっています。「私たちの地区は昨年、仙台の GSE チームと交換を行いました。被災した友人のことを思い、とても胸を痛めています」と、パストガバナーのマイク・オールダムさんはつらい胸中を語っています。
- ・元ロータリー平和フェローの福原美穂さんは、現在、ニューヨークにあるユニセフ本部での国連職務を一時的に休止し、日本にあるユニセフの委員会に加わって 5 週間の活動を行っています。「緊急対応支援のために日本に派遣されるなんて、思ってもみませんでした」と、以前イラクでの平和構築活動に参加した福原さんは述べます。「被災状況は実に痛ましいものですが、できる限りのことを尽くしたいと思います」（引用はすべて英語から翻訳されたものです）

表紙について

東山 魁夷（横浜市出身） 1908—1999
■「残照」 1947(昭和 22) 年作
東京国立近代美術館蔵

ロータリーの友 1994 年 3 月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2011. 3.28
No.1989 No.31